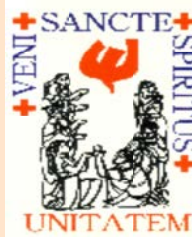


2019年1月1日 (第188号)  
 発行所 カトリック高松司教区 広報委員会  
 〒760-0074 高松市桜町1-8-9  
 TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484  
 Email  
 教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp  
 広報: tk-koho@mx1.netwave.or.jp  
 生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp  
 WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



# カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉  
 ひとのシャナ  
 リストの音調。  
 「教会の中で変わるべきものは、」  
 マザーテレサ。  
 「あなたとわたし」

## 新しい出発の年となりますように



諏訪榮治郎司教

新年あけましておめでと  
うございます。

フランスの老聖学者テヤ  
ル・ド・シャルタンは「人  
類は物質圏から英知の極致  
であるオメガ点キリスト  
に向かって進化している」。

私たちが「旅する教会」は今  
年も積極的に忍耐強く「待  
つ人」として神の呼びかけ  
に向かって共に歩んでいき  
たいと思います。

さて、高松教区は過去3  
年間「教区の財政」改革に  
取り組んでまいりました。  
新年度からは新しい「財政  
シナテム」に移行するこ  
ととなります。それは教区で  
働く「司祭の給与確保」と  
いう課題であります。すな  
わち

## 教区支える姿勢を築く

「なぜこのような問題が  
浮上してきたのでしょうか？」  
教区財政が困難  
を極めているにも  
かかわらず、長年  
放置され、先送り  
されてきたことが  
大きな原因である  
と考えられます。  
その背景には  
・司祭給与は園長  
給で賄つ。  
・宣教国の日本の  
教会は外国からの  
支援を賄つ。  
・教会の中では霊  
的な話を優先し、  
お金に関する話  
はなるべく避けた  
方がよいとの雰囲気  
の恒常化



また、「納付金B」とい  
う納付金に対して、教区は  
小教区から「お金を搾り取  
る」という残念な意思の声  
も聞こえてきます。「維持  
費或いは献金」について再  
考する時、一人一人が聖書  
全体から、捧げ物とその精  
神を汲み取り、新たにされ  
ていたことを心から願っ  
ています。  
「神への捧げ物」とい

①教区は「司祭給与」を不  
確定な献金や援助金からで  
はなく、堅実な予算「納付  
金B」をたてる。  
②教区運営、宣教活動経費  
である「納付金A」から司  
祭給与を流用しない。  
③教区にあるすべての小教  
区が財政力に応じて分担し、  
する心配をかけたくないと  
いう司牧者の親  
心などなど。

「神の民の存在は、イスラ  
エルの神による救いの業な  
しにはあり得ないことでし  
たし、神さまのお蔭で今日  
の自分たちがある」と言うこ  
とを、神の慈しみと御計ら  
いへ感謝をあらわし、地の  
産物の捧げ物を通して意識  
化し表現していただくです。  
新約聖書においても「や  
もめの献金」(ルカ21章)  
を以て、捧げものの価値は、  
その額ではなく、捧げるそ  
の精神にあることをイエス  
は語っておられます。」



壁面に聖夜画を投影中

今後、神  
様の摂理が  
働くことも  
考慮に入れ  
ながらも、  
一方で現実

(事務局長 西川康廣談)

## 高松教区責任役員会の模様



教会共同体の高齢化が進む  
中で、確かに難しい問題は  
あります。しかし教会  
は組合の出資制でも  
なければ、何かの会  
員制でもありません。  
洗礼と堅信の秘跡  
によって神に属する  
者となったわたした  
ち神の民が、唯一聖  
である神を父とし、  
みな神の御名の下に  
兄弟姉妹として神の  
家族(教会)を形成  
し、互いに助け合っ  
て生きることを神は  
お望みになっておら  
れるのです。  
「納付金が納めら

れないからもう教会に行く  
ことができない」などとい  
う意識を決して持つことの  
ないよう、心から配慮を  
お願いいたします。  
人事を尽くして天命に任  
せよと肝要と思われま  
す。皆様のご理解を心からお願  
い申し上げます。

## 祭壇奉仕者選任式

9月16日の朗読奉仕者選任式に続き12月2日(日)、待降節第  
1主日のミサの中で、R・Tウィリアムス氏と小山一氏が祭壇奉仕  
者に選任されました。写真はそのシンボルとしてのカリスマが授けら  
れたシーンです。お2人には来年度の聖霊降臨の大祝日に終身助祭  
叙階式が予定されています。皆さんお祈りください!



R・Tウィリアムス氏

アウグスチヌス小山一氏

## 地域に応えた福音宣教を 普通寺 秋の一日司祭集会

2018年「秋の一日司  
祭・助祭・修道者集会」in  
普通寺報告

11月8日(木) 秋晴れに  
恵まれ、四国各県から18名  
が普通寺市役所敷地内にあ  
る旧備前社に集まり、毎年  
恒例の秋の一日集会を午前  
10時〜午後4時まで開催し  
た。



31年度における福音宣教を熱く語る

変化、またそこから生ま  
れて来る価値観の中で悩ま  
苦しんでいる。

2・「子どもたちを  
わたしのものに来さ  
せなさい」(ルカ18・  
16)

「社会は「何ができ  
るか」によって、そ  
の人の品定めをする  
が、家庭や教会にお  
いては、「価値ある  
者として一人一人を  
認める」ことが大事  
だ。

時代が求めること  
だけに關心を持つ  
のではなく、神との交わりの  
時間を大切に、日常生活  
においてミサを生きるこ  
とが求められる。

3・この社会の中で福音宣  
教「福音マーケット」を生  
きる

「養成・意識・組織」、養  
成・分かち合うことを通し  
て教会の豊かさに気付き、  
(意識)ミサから派遣され

①小教区を取り巻く周囲の  
環境、特徴、課題について  
四国八十八ヶ所の巡礼地で  
あるため仏教の影響は強い。  
小教区を取り巻く環境が産  
業、工業、田園地帯などの

この後、2019年度人事  
案を提示し、地域のニード  
に応えた福音宣教の在り方  
について意見交換した。

高松教区事務局長  
西川康廣

## はばたき

初春のおよこびを申し  
あげます。  
自国ファーストの台頭な  
どによって、混迷する世界  
情勢の中、かけがえのない  
命が尊重され、大切にされ  
る社会へと向かっていくよ  
うに祈ります。

ブラザー・ロジェはキリ  
スト者たちの間にある分裂  
をいやす道を開くために、  
また、彼らの和解を通して  
人類家族の間にあるすべて  
の対立を乗り越えるために、  
テゼ・コミュニニティを創立  
されたそうです。

短い祈りのことはくり  
返し歌うテゼの祈りを司教  
さまはよくしてくださいま  
すが、くり返しともに歌う  
とき、それは私たちの魂の  
奥底にしみとおり、真に私  
たちの心が一つになるよ  
うに思います。

心一つにしてともに祈  
ることによって、ゆるす愛  
が私たちの心に芽生え、互  
いに愛し合うことができる  
ようになるのではないしょ  
うか。

また、自分を各々ない人々  
を神に委ねるとき、彼らの  
内側で何か確かに変わっ  
てゆくでしょう。そのとき  
すでに平和への道を新しく  
歩み始めているのだと思  
います。

イエスが来られたのはイ  
エスを通してすべての人が  
救われ、和解するためです。  
主よ、どうか傷ついて  
いるすべての人々の心を癒  
し、分裂している人々を和  
解と一致へ向けて導いてく  
ださい。

世界中のすべての人々が、  
あなたの愛に包まれて平和  
と喜びのうちに生きていく  
ことが出来ますように。新  
年の門出にあたり、皆さま  
の上に主の豊かな祝福をお  
祈り申し上げます。



◆『司祭不在のときの主日の集会祭儀 (試用版)』

このたび『司祭不在のときの主日の集会祭儀 (試用版)』が発行されました。この儀式書は、主日に司祭が不在でミサを捧げることができない場合に、助祭、もしくは教区長によって任命された信徒の司会者によって執り行われる集会祭儀で用います。



各教区ではこれまで、典礼省(現典礼秘跡省)が1988年6月に発表した「司祭不在のときの主日の集会祭儀指針」に基づいて、独自に編集した儀式書を用いて集会祭儀を実践してきました。今回発行された儀式書は司教団によって認可され、全国で共通に用いることができるものです。ただし、司祭不在のときの主日の集会祭儀の実践の経験が

浅いことに鑑み、発行から向こう3年間にわたって試用した後、必要な修正を加えて正式な儀式書として整える予定です。

会衆用式次第ダウンロード

この司祭不在のときの主日の集会祭儀を行うためには、会衆用の式次第が必要です。今回は儀式書が試用版であるため、会衆用式次第の発行は見送りしました。そこで、各共同体の状況に応じて印刷して用いることができるよう、以下に原稿を掲げますのでダウンロードしてご利用ください。

会衆用式次第ダウンロード (Word版)

- 「朝の祈り」の形式一聖体拝領を行う場合
■「朝の祈り」の形式一聖体拝領を行わない場合
■「晩の祈り」の形式一聖体拝領を行う場合
■「晩の祈り」の形式一聖体拝領を行わない場合
■「ことばの祭儀」の形式一聖体拝領を行う場合
■「ことばの祭儀」の形式一聖体拝領を行わない場合

会衆用式次第ダウンロード (PDF版)

- 「朝の祈り」の形式一聖体拝領を行う場合
■「朝の祈り」の形式一聖体拝領を行わない場合
■「晩の祈り」の形式一聖体拝領を行う場合
■「晩の祈り」の形式一聖体拝領を行わない場合
■「ことばの祭儀」の形式一聖体拝領を行う場合
■「ことばの祭儀」の形式一聖体拝領を行わない場合

日本カトリック典礼委員会

鳴門・徳島教会で交流 番町教会が巡礼旅行
高松番町教会では、11月に「秋の巡礼旅行」と銘打って近隣の教会を訪問していただきます。今年で7年目となり、今までは池田、善導寺、観音寺、赤岡・安芸、新居浜・伊予三島、小豆島、岡山を訪れ恒例の行事となっています。近隣教会との交流、番町信徒の親睦を目的に、今年11月18日、鳴門・徳島の教会を訪問しました。



鳴門の教会ではミサを二... 番町教会 河合良治

福者ユスト高山右近殉教者 講演会
テーマ:『小豆島における福者ユスト高山右近殉教者とキリシタンの足跡』
日時:2019年2月3日(日) 主日のミサ後 10時30分~12時
ト教伝来、右近の潜伏、禁教時代、島原の乱後の移

福者ユスト高山右近殉教者 講演会
テーマ:『小豆島における福者ユスト高山右近殉教者とキリシタンの足跡』
日時:2019年2月3日(日) 主日のミサ後 10時30分~12時
ト教伝来、右近の潜伏、禁教時代、島原の乱後の移
場所:カトリック小豆島・土庄教会聖堂
講師:日向光徳
小豆島での潜伏を境に右近の生き様は変化したといわれています。小豆島へのキリス



『典礼奉仕』のために (32)

2018年高松教区典礼担当者会議報告
「司祭不在の時の主日の集会祭儀について学ぶ」

高松教区典礼委員長 谷口広海

11月17日(土)10時から14時まで四国会館にて第4回高松教区典礼委員会が行われた。今回は、9月の全国典礼担当者会議の主要審議項目の中から①「司祭不在の主日の集会祭儀」について、11月に発行された試用版儀式書を使用して、司会者の在り方を流れてきた説明が行われた。試用版では「教会の祈り」の形式

の「朝の祈り」、「晩の祈り」2通り、「ことばの祭儀」の形式1通りで、聖体拝領を伴う場合と伴わない場合の儀式書となっている中から、「教会の祈り」の「朝の祈り」形式の聖体拝領を伴う場合と伴わない場合の2通りを中心として、訪問方法の理解や司祭の説明が行われた。「ことばの祭儀」の形式は、殆どミサのことばの祭儀と変わらない反面、「教会の祈り」は現在、修訂版を除き殆どの小教区は採用していないのが現状で、委員サイドからの要望として、各地区で実際に祭儀のデモンストレーションを伴った指導を望む声が出た。

信徒の召命を考える
東讀ブロック黙想会
12月2日(土)、信徒会館2階にて東讀ブロックの黙想会が行われました。講師は、福音マーケットの指導者、六甲教会信徒の吉村和夫さんでした。



黙想講話に熱心に聴き入る信徒

松山周辺には資料ははっきりしないが、キリシタンの遺跡として地元住民に伝わり、またお盆などで集会所にお祈りをして居る場所がある。そのうち二つを訪ねてみた。
松山市の道後に1587年(天正十五年)に2人の宣教師が訪れ、教会と司祭館を建て宣教したと、ルイス・フロイスは「日本史」に記述している。

お堂の中に『マリア石』
フロイスら宣教師の足跡のぶ
ア像だと伝わる石碑が祭らされている。地元では生き木地蔵(いききじぞう)とも呼ばれて親しまれている。案内板によると追っ手を逃れたキリシタン信徒が松の根元にひそかにマリア石

松山周辺には資料ははっきりしないが、キリシタンの遺跡として地元住民に伝わり、またお盆などで集会所にお祈りをして居る場所がある。そのうち二つを訪ねてみた。

近しい松山市福角町の丘のふもとに山林横に、正面に人の顔が彫られた二石五輪塔が祀られている。これはこの地域一帯から北条、菊間地域にかけ多数分布するキリシタンに関連した遺跡である。道大に保存されている。道後に播かれたキリスト教の種はひそかに守られていた可能性が考えられる。

枯葉を踏みながら、これらの遺跡を巡ると、潜伏しキリストのみ言葉に希望を託して信仰を生きだした先人たちの苦勞や喜びや様々な想いが時を超えて寒風に乗って伝わってくる。
道後教会 丸尾修

聖性は聖職者になる事か条件ではなく、日常の雑務を愛を持って奉獻することにより、また失敗や弱さにもめげずに何度も神を選択することを通して、自分らしい聖性が成長していくこと、そのためには神の言葉を聞くこと、聖霊による正しい識別が必要である、と知りました。

終わりに、「ブロックの祈り」で隠れている犠牲が報われることを祈り、ケリフィン講座の「クリスマスの祈り」で講座を終え、告解で締めくくりました。今年を振り返り新しい年に向けて、有意義な黙想ができて、神に感謝です。

古く木の根に巻き込まれたようになり、わずかに顔を見せるマリア像とされる石像は苦難に耐えて教を守っているキリシタンの姿にもすると伝えられる石碑だ。両側に五輪塔と教会石とされる石碑が並ぶ。



「二石五輪塔」が建つ隠れキリシタンの墓

松山周辺には資料ははっきりしないが、キリシタンの遺跡として地元住民に伝わり、またお盆などで集会所にお祈りをして居る場所がある。そのうち二つを訪ねてみた。

ア像だと伝わる石碑が祭らされている。地元では生き木地蔵(いききじぞう)とも呼ばれて親しまれている。案内板によると追っ手を逃れたキリシタン信徒が松の根元にひそかにマリア石

近しい松山市福角町の丘のふもとに山林横に、正面に人の顔が彫られた二石五輪塔が祀られている。これはこの地域一帯から北条、菊間地域にかけ多数分布するキリシタンに関連した遺跡である。道大に保存されている。道後に播かれたキリスト教の種はひそかに守られていた可能性が考えられる。

枯葉を踏みながら、これらの遺跡を巡ると、潜伏しキリストのみ言葉に希望を託して信仰を生きだした先人たちの苦勞や喜びや様々な想いが時を超えて寒風に乗って伝わってくる。
道後教会 丸尾修

道後教会 丸尾修



国籍や言葉の違いを超え、技能実習生や造船業従事者など、高知にも外国籍の方が圧倒的に増えてきました。教会にその現状が現れ、教会にもその現状が現れています。

11月18日(日)『インターナショナルデー in 高知』テーマ「Being Together みんなのこころ」が高知地区5つの小教区(安芸・赤岡・中村・江ノ口・中島町)が中島町教会

に集い開催されました。高松からも西川助祭が駆けつけてくださり、終日参加してくださりました。11時からのバイリンガルミサで始まり、聖堂には130名を超え多くの人が集い、共に一致して祈りを捧げました。

聖書朗読



各国信徒が集った国際ミサ

### 各国語で祈り、楽しく踊った インターナショナルデー in 高知

聖歌、共同祈願は日本語、英語、ベトナム語、タガログ語それぞれの言葉で、特に奉納の歌として捧げられました。

西川助祭がミサ説教の中で話されたように、今の社会はインターネットを介して人と人が繋がることが多くなつたけれど、わたしたちは何よりも強く神さまと繋がっていることを大切に、国籍や言葉の違いを超えて、これからも主の名のもとに集っていきたく思います。



インドネシアの舞踊を披露

高知地区

### 諏訪司教交えて活発に話し合い

#### 鳴門教会で「教区の日」の集い

今年度の教区の日、小教区ごとに実施された。鳴門教会は諏訪司教様を迎えて、去る10月28日に行われた。

会は10時から始まり、これまでの「福音マーケット」の検討経過や「教区女性の会」の振り返りの後、本番の話し合いに入った。



議長による「福音マーケット」の検討結果の報告

鳴門教会の宝は、今なお郷愁をもって語り継がれる独特の歴史を持つていること、すばらしい信徒の一致と協力態勢、モンテッソーリ教育をベースとする幼稚園を併設していること、などが挙げられる。

そのほか教会を自分たちだけの閉じられた場所にするのではなく、近隣社会に向かって喜びや安らぎの場所にする具体策、地区の協力体制をもっと活発化する

鳴門教会 福田健一

## 恵みに包まれ徳島で青年黙想会

ブラザー八木信彦

11月24日(土)・25日(日)、徳島県東みよし町にある美濃田の淵キャンプ村のロッジで、諏訪司教様の指導のもと、青年黙想会が行われ、6名の青年が参加しました。



黙想会終盤の派遣ミサ

「現在の、何かが足りないものを感じました。一人一人が発する言葉の背後にイエス様の現存を強く感じました。その様子が青年の感想以下の中に綴られていて思っています。」

「霧がかかっていたように、霧が晴れていく感じがしました。過去の自分を振り返ると、自分も他者も自然も愛おしく思えてくる、そんなお恵みに包まれたひとときでした。」

### 自分の振り返りに

聖方ダリナ大学 齋藤佳那  
①自分を振り返る  
今回の黙想会のプログラムの中で、自分の過去を振り返りました。今まで、真剣に自分の人生を振り返ることがなかったため、多くの事を発見することができました。

そのなかでも現在の自分を見つめたことが、何よりも、自分のためになりました。過去から現在の自分をみつめると「今を無駄に

つづけることができました。

皆の分かち合いを聞くことで、他の意見や気づきをもっと聞けるようになりました。

「輝かしい恵み」「豊かな恵み」の二つの恵みが自分にとってどんな意味があるのかを考えてみると、「輝かしい恵み」は今を生きる人生そのものだと思います。

### 新しい発見できた

新居浜教会 小山輝子  
今回の黙想会で、聖書を読み、更に深く読むことで分かち合うことにより、もっとイエス様を知ることが出来ました。

自分の考え方や今回参加している人達の考え方で似ている部分もあれば違う部分もあり、それを知ることが出来るとも楽しく学ぶことが出来ました。

また、ダイナミックメモリーで学んだナミックメモリーを重ねて考えてみると、まだまだ嬉し

皆の想いを聞いた

三本松教会 長町節郎  
みんなの話を聞くと、改めて自分の振り返りともなりました。

「輝かしい恵み」「豊かな恵み」の二つの恵みが自分にとってどんな意味があるのかを考えてみると、「輝かしい恵み」は今を生きる人生そのものだと思います。

### 恵みの意味考えた

新居浜教会 小山礼治  
この黙想会を通して、神様の存在、自分の存在の意味を改めて考えさせられました。

「輝かしい恵み」「豊かな恵み」の二つの恵みが自分にとってどんな意味があるのかを考えてみると、「輝かしい恵み」は今を生きる人生そのものだと思います。

また、ダイナミックメモリーで学んだナミックメモリーを重ねて考えてみると、まだまだ嬉し

皆の想いを聞いた

三本松教会 長町節郎  
みんなの話を聞くと、改めて自分の振り返りともなりました。

「輝かしい恵み」「豊かな恵み」の二つの恵みが自分にとってどんな意味があるのかを考えてみると、「輝かしい恵み」は今を生きる人生そのものだと思います。

### 神との出会い大切

徳島教会 嘉徳太郎  
イエスに出会い続けることが大切。でも続けることが難しいときもあるから、気付いた時にもう一度とらえ直す。座禅を行う際の調息のよう。

「輝かしい恵み」「豊かな恵み」の二つの恵みが自分にとってどんな意味があるのかを考えてみると、「輝かしい恵み」は今を生きる人生そのものだと思います。

また、ダイナミックメモリーで学んだナミックメモリーを重ねて考えてみると、まだまだ嬉し

「輝かしい恵み」「豊かな恵み」の二つの恵みが自分にとってどんな意味があるのかを考えてみると、「輝かしい恵み」は今を生きる人生そのものだと思います。



黙想会終了後、清々しい気持ちで青空を眺める参加者

「輝かしい恵み」「豊かな恵み」の二つの恵みが自分にとってどんな意味があるのかを考えてみると、「輝かしい恵み」は今を生きる人生そのものだと思います。

「輝かしい恵み」「豊かな恵み」の二つの恵みが自分にとってどんな意味があるのかを考えてみると、「輝かしい恵み」は今を生きる人生そのものだと思います。

皆の想いを聞いた

三本松教会 長町節郎  
みんなの話を聞くと、改めて自分の振り返りともなりました。

「輝かしい恵み」「豊かな恵み」の二つの恵みが自分にとってどんな意味があるのかを考えてみると、「輝かしい恵み」は今を生きる人生そのものだと思います。

### 努力したザアカイ

中島町教会 横谷英賢  
罪人であったザアカイは、イエスが町に来ていると知り、どんな人か見ようとして見られなかった。そこで走って逃げた。

「輝かしい恵み」「豊かな恵み」の二つの恵みが自分にとってどんな意味があるのかを考えてみると、「輝かしい恵み」は今を生きる人生そのものだと思います。

また、ダイナミックメモリーで学んだナミックメモリーを重ねて考えてみると、まだまだ嬉し

「輝かしい恵み」「豊かな恵み」の二つの恵みが自分にとってどんな意味があるのかを考えてみると、「輝かしい恵み」は今を生きる人生そのものだと思います。



教区スケジュール

2019年 1月	1日 (火) 元旦 神の母聖マリア 世界平和の日
	6日 (日) 主の公現
	13日 (日) 主の洗礼 司祭・助祭交流会in塩江 (~14日)
	14日 (月) 成人の日 年間第1週
	18日 (金) エキュメニカル祈禱一致週間 (~25日)
	19日 (土) 宣教司牧評議会役員会13:00
	20日 (日) 年間第2主日「エキュメニカルの日」
	25日 (金) 聖パウロの回心
	27日 (日) 年間第3主日世界こども助け合いの日
2月	2日 (土) 主の奉獻
	3日 (日) 年間第4主日
	5日 (火) 日本26聖人殉教者
	10日 (日) 年間第5主日
	11日 (月) 建国記念日 世界病者の日
	17日 (日) 年間第6主日
	18日 (月) 2019年定例司教総会 (~22日)
	22日 (金) 聖ペトロの使徒座
	24日 (日) 年間第7主日

聖歌でマルチンの園を慰問  
長尾聖母幼稚園コーラスグループと有志で



私たちは長尾聖母幼稚園で週に1回、園長先生のご指導の下、楽しく聖歌を歌っています。そんな私たちに今回の慰問のお話が舞い込み、坂出市にある

介護老人施設・聖マルチンの園に聖歌のコーラスを携えて出向きました。女性7名と男性4名の計11名で、普段謳っている聖歌を8曲ほど合唱させて頂きました。教会のイベントで数回歌ったことばかりですが、慰問は初めてのことで、私たちが歌が聴いて下さる方々の心にきちん届くかな、いものではなかったと思います。不安もありましたが、利用者の方々と職員さん方に、とても喜んで頂き、メンバー一同、とても充実した時間を与えられたことに感謝しています。

全員の練習も困難で、おのおの練習を積み重ね、直前の1時間ほどの調整となりました。そのため約40分ほどの合唱の完成度は、と問われると、正直高くない、いものではなかったと思います。完璧な合唱を披露するとはできませんが、利用者の方々と職員さん方に、とても喜んで頂き、メンバー一同、とても充実した時間を与えられたことに感謝しています。

**国際交流ミサ**  
2018年12月23日  
時間 ミサ: 14:30  
交流パーティー: 16:00  
場所~カトリック坂出 教会

皆様、あけましておめでとうございます。今年度も、高松教区としてICC (International Catholic Community) の活動を進める中、多くの方々にご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。ICCとして、様々な言語・文化を背景にしながら、みんなとともに、祈り、喜び、分かち合えたらと思っております。去る12月23日(日)には、ICCのクリスマスミサとパーティーを開催致しました。ご協力頂きました皆様、ご来場頂きました皆様、本当にありがとうございます。これからも、色々な形で活動をして参りたいと思います。宜しく願い申し上げます。皆様にとって素晴らしい一年になりますように。

新刊書籍紹介

**『み言葉とともに 生きる、学ぶ、喜ぶ』**  
「あきらめないで、投げ出さないで、自分を信じて。でもときには寄り道、力を抜いて……人生って素晴らしい！」  
「君は何者？君はどこにいる？君はどこに向かう？」  
イエズス会司祭である著者が、ミッションスクールの教員、校長を務める中で、聖書の物語、先達の生きた証し、自らの生い立ちや経験を振り返りながら生徒たちに語りかけた思いの数々。未来へ踏み出す一歩を後押ししてくれる。~編集部からひとこと！~  
生きるうえで根本的な問いを、聖書のみ言葉をはじめとする古今東西の含蓄ある言葉を手掛かりに思いめぐらし、語りかけています。広島県在住の書道家、杉岡陽水氏による聖書のみ言葉が随所に置かれ、文章に奥行きを添えている、魅力ある本です。  
李聖一著 / 杉岡陽水書 205頁  
本体1,000円+税

新病院建替え当初より消防署から梯子車を使う合同消防訓練を行いたいとの申し入れがあり、この度、この訓練を実施することになりました。当院では、毎年、春と秋に初期消火訓練は行っていますが、今回のような大がかりな消防訓練を行うのは私の記憶では過去になかったことです。



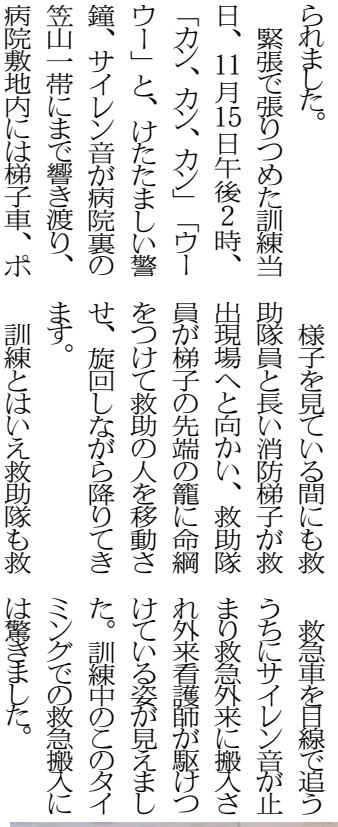
訓練の概要は、病棟4階から火災発生、出火点確認、通報、非常全館放送、避難、逃げ遅れ等を想定した救出方法で、避難者のトリアージ緑・赤など緻密な打ち合わせを行い、職員の協力、周知など着々と準備が整えられました。緊張で張りつめた訓練当日、11月15日午後2時、「カン、カン、カン」「ワー」と、けたたましい警鐘、サイレン音が病院裏の笠山一帯にまで響き渡り、病院敷地内には梯子車、ポンプ車、救助工作車、指揮車、救急車、広報活動車が続きと緊急出動して来まし

**西日本豪雨災害復旧支援募金終了**  
昨年7月の台風7号による全国規模の集中豪雨において、被災した宇和島地区の断水状態が続く中、宇和島教会の施設解放および信徒宅を「災害復旧ボランティアベース」として開設いたしました。同時に、チカカン人権局、カリタスジャパンをはじめ教区内外から多額の復旧支援をいただき心から感謝申し上げます。同地区はいまだ災害の爪痕は消えてはおりませんが、とりあえず災害復旧募金は昨年12月末をもって終了させていただきました。物心両面にわたる皆様のご支援を心より御礼申し上げます。(教区本部事務局)

梯子車を使って患者救出  
聖マルチン病院で消防訓練

梯子車を見ての間にも救助隊員と長い消防梯子が救出現場へと向かい、救助隊員が梯子の先端の籠に命綱をつけて救助の人を移動させ、旋回しながら降りてきました。訓練とはいえ救助隊も救出される人にとっても互いに命がけの場面でした。傍ではポンプ車による放水訓練、エアテント内で水訓練、エアテント内ではトリアージ担当医師と看護師の処置開始活動が行われていました。その後、消防士が院内保育の幼児7人が乗っている避難車まで足を運び、握手をしてくださいました。身近で見ると消防士の姿と握手に子供たちは大喜びで笑顔が弾けていました。お昼寝の時間を返上しても、貴重な消防訓練に参加させた甲斐があったと喜んでいて矢先、一人の男児が、自分は消防士とまた握手をしないと、突然、火のついたように泣き出し、

このたびの消防訓練を通してお世話になった消防署の皆様、誠に心より感謝していただきます。聖マルチン病院 Sr・白田慶子



神を観想し、その実りを人々に伝えよ  
**聖ドミニコ宣教修道女会**

私たちは、自分を創造しようとするこどもをまなび、護りましょう  
**暁の星学園**  
鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園  
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園

編後記  
教皇フランシスコが重ねて発表される回勅や使徒的勅告とは裏腹に国際政治の動きに、目を追うことに危険性や心配が深まっていくのを多くの方が感じているのではないのでしょうか。年が改まることによつてその恐れから解放されるといふ訳にはいかないのが現実ですが、キリストを信じる者として世界の良識ある人々と心を一つに、祈りの中でキリストの価値観で連帯することは出来ません。もちろん、高松教区も教区の諸問題の解決に全信徒の連帯が必須であることを心しての新生です。(J)